

伊賀市 事務事業評価シート

整備事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	859	羽根岡波線道路改良事業	会計	01	一般会計
基本施策	50	市内道路網を機能的に強化する	款	08	土木費
			項	02	道路橋りょう費
			目	03	道路新設改良費
担当部課名	青山支所産業建設課		細目	103	地方道路交付金事業
作成者氏名	山内 敏	連絡先	細々目	04	羽根岡波線道路改良事業
		52-3220			

事業の計画・内容

整備 目的 的	本路線は、市町村合併推進道路であり、青山地区と上野地区を結ぶ計画で整備している。	整備 内容	1 整備面積等	L=600m
			2 規模・構造	W=9.25m
			3 総事業費(千円)	600,000

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)	
①投入人員	正規職員 (人)	0.3	0.2	0.2	
	人件費合計(A)	2,160	1,440	1,440	
②支出内訳 (千円)	事業費(B)	29,999	30,000	45,000	
	委託料		2,500		
	工事費	18,816	17,361	30,000	
	用地費	9,018	7,470	14,000	
	その他	2,165	2,669	1,000	
	合計(A+B)	32,159	31,440	46,440	
③財源内訳 (千円)	特定財源	国県支出金	16,500	16,500	24,750
		地方債	13,500	12,100	20,250
		受益者負担			
		その他特財			
	一般財源		2,159	2,840	1,440
上記①～③に関する特記事項					

根拠法令・要綱等

道路整備緊急措置法

関連事業

事業年度

開始年度	平成 15 年度	終了年度	平成 22 年度
------	----------	------	----------

進捗状況

区分	年度				
	H17	H18	H19	H20	H21
事業費	→				→
進捗率	27	35	42	69	85

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	目標
供用率	供用率は一般の通行に供している比率を示しており、市民の社会活動への貢献度を示すもの。	平成 22 年度 100%

事業開始時からの状況変化等

本事業は、青山管内北部地域と上野管内南部地域とを結ぶ計画の合併推進道路である。沿線にはリゾートホテルや、私立高校が立地している。また、川上ダム建設に伴う、川上地区の集団移転地も立地している。

評価	必要性	4	伊賀市の中でも特に青山地域は北部地域から隔絶したようなイメージが根強い。これは南北のルートが少ないことが最大の要因である。早急な一体化のためには交流の阻害要因の排除が必要。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		